

27 霊峰飛鶴 堂本印象 六曲一双

絹本着色 昭和十年（一九三五）
本紙各一五七・三×三五九・六

昭和八年十二月二十三日の皇太子明仁親王（天皇陛下）御生誕奉祝のため、衆議院議員一同より堂本印象（一八九一〜一九七五）に制作が依頼され、昭和十年に献上された作品。右隻には二羽の鶴を画面いっぱい大きく描き、左隻は松の緑も鮮やかな愛鷹山と白雪を冠した明快な彩色の富士を描いている。鶴の羽ばたきによって巻き起こったかみえる瑞雲は、左隻へと続き、さらに山を駆け上がって天へと昇る。そしてあえて富士を画面の中心ではなく、愛鷹山に隠れるように描く構図は、日本画から抽象画まで粹にとらわれることなく奔放な創造性を発揮した印象の独創性の表れである。印象の談によると、この富士は五湖のあたりからながめたもので、鶴は九州阿久根で写生したものだという。長寿を示す伝統的な吉祥画題である松と鶴、日本が誇る美しく神聖な富士の山と組み合わせながらも、鶴が富士に向かって力強く飛び立つ姿には、お生まれになった殿下の前途を祝す願いが込められている。

左隻

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

富士 ―山を写し、山に想う―

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 46

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年三月二十二日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections